

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

笑って、泣いて。

Mozart

**モーツァルト 深淵なる孤高の宇宙 ——
現代最高の鬼才アフアナシエフが初登場!**

指揮 **円光寺 雅彦**
Conductor **MASAHIKO ENKOJI**

ピアノ **ヴァレリー・アフアナシエフ**
Piano **VALERY AFANASSIEV**
コンサートマスター 小森谷 巧
Concertmaster **TAKUMI KOMORIYA**

モーツァルト：歌劇「後宮からの誘拐」序曲
Mozart: "Die Entführung aus dem Serail" Overture

モーツァルト：ピアノ協奏曲 第9番 変ホ長調 K.271「ジュノム」
Mozart: Piano Concerto No. 9 in E flat major, K. 271 "Jeunehomme"

モーツァルト：ピアノ協奏曲 第27番 変ロ長調 K.595
Mozart: Piano Concerto No. 27 in B flat major, K. 595

モーツァルト：交響曲 第31番 二長調 K.297「パリ」
Mozart: Symphony No. 31 in D major, K. 297 "Paris"

6.20
読売日本交響楽団 第572回 サントリーホール名曲シリーズ
2014年 **6月20日** (金) 19時開演
サントリーホール
S ¥7,200 / A ¥6,100 / B ¥5,100 / C **SOLD OUT**
The 572nd Suntory Hall Popular Series
Fri. 20th June 19:00 / Suntory Hall

6.22
読売日本交響楽団 第167回 東京芸術劇場マチネーシリーズ
2014年 **6月22日** (日) 14時開演
東京芸術劇場コンサートホール
S **SOLD OUT** / A ¥5,100 / B ¥4,100 / C **SOLD OUT**
ジュニアシート (大人同伴の小中高生) ¥1,500
The 167th Tokyo Metropolitan Theatre Matinée Series
Sun. 22nd June 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre

お申し込み・お問い合わせ 読響チケットセンター 0570-00-4390 [10時-18時・年中無休] <http://yomikyo.or.jp/> プレイガイド：チケットぴあ、e+ほか
主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団 助成：文化庁文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業) 事業提携：東京芸術劇場(6/22)

天国のような地獄か、地獄のような天国か ——モーツァルト、旅する人生の悲喜劇をめぐって

青澤隆明(音楽評論家)

モーツァルトはいまどこにいるのか。もともと人々の間をすりぬけるように、あるいは幾多の手をかわすように、モーツァルトは音楽とともに飛びまわっていた。

遊ぶように音楽をかたる彼の想像力は境界を軽々と飛び越えていくが、私たちは重たい足で歩むしかない。天才の哄笑はどこか高く、喜びも悲しみも笑い飛ばして聴こえる。生きるうちから、向こう側をみつめていた道化のように。

いっぽう、ヴァレリー・アフアナシエフとは、現代でもっとも深く天国と地獄について思索を巡らせてきた音楽家のひとりだろう。ダンテの「神曲(La Divina Commedia)」を座右の書に、アフアナシエフは作曲家の想像力を広大な因果の画布に広げていく。コスモポリタンのモーツァルトですら知り得なかったのは、ヨーロッパの行く末だけではない。東洋の国々やその地に育まれた思索や瞑想——、亡命前のアフアナシエフがモスクワ時代から憧憬を向けてきた日本の詩歌や随筆もそのなかに含まれるだろう。

ヨーロッパの残照のなかを往くがごとく、昏い影を重たげに引き摺りながら、アフアナシエフは聴く者を思索の迷宮へと誘ってきた。ときには影こそが実存在であるかのように、作品世界を自らの孤独で充たしながら。それでも、日本でいう還暦をすぎるあたりから、アフアナシエフのピアノ演奏はさらに自由になってきた。重さの際立った遅いテンポが少しずつ弛むように速まり、彼自身の深刻さからもいくらか解き放たれたのか、自然な呼吸をゆるすようになった。演劇的な素振りや知的な構築の強さをなお抱きつつも、感情の率直な発露に、自らの内心を委ねるようにして。指揮活動にも情熱を示したアフアナシエフはそうしていま、モーツァルトといかように遊んでみせるのか、そこにどれだけの無邪気が微笑むことになるのか。

モーツァルトが21歳になった月、故郷ザルツブルクで個性を強く打ち出した変ホ長調K.271、14年後、生涯最後の年に完成した到達点としての変ロ長調K.595——2作のピアノ協奏曲をどのように繋ぐのかも、アフアナシエフ独自の思索と成熟を知る意味で深い対比を示すだろう。交響曲からは、変ホ長調協奏曲の翌年、息の詰まるザルツブルクを出て、ミュンヘン、マンハイム、そしてパリへと旅して刺激を受けた意欲作、二長調K.297が採り上げられる。旅の始まりにはその後、コンスタンツェと結婚する年、新天地ウィーンで初めて上演した華やかなオペラの序曲が演奏される。

ウィーンで学び、この作曲家を敬愛してきた円光寺雅彦が指揮する読売日本交響楽団と、ヴァレリー・アフアナシエフは、旅多きモーツァルトの人生の音楽を、どのような沈潜や才気とともに駆け巡っていくのか。天国のような地獄か、はたまた地獄のような天国か。いずれにしても、異界へのまなざしが鋭く暴き出す、果敢な精神の光景となるに違いない。

指揮 円光寺 雅彦

Conductor MASAHIKO ENKOJI

ウィーンで学び、モーツァルトの音楽を知り尽くす日本を代表する名匠。2012年4月には、天皇、皇后両陛下の前でタクトを振り、カーテンコールでは両陛下からの熱心な拍手を受け、何度も舞台に呼び戻されて会場の喝采を浴びた。1954年東京生まれ、桐朋学園大学指揮科卒業。ウィーン国立音楽大学に留学し、オトマール・スウィトナーに師事。東京フィル指揮者、仙台フィル常任指揮者、札幌正指揮者などを歴任し、11年4月より名古屋フィル正指揮者を務めている。これまでに、ヘルゲン・フィル、プラハ響、BBCウェールズ響、フルターニュー管、読響、N響、大阪フィルなど国内外のオーケストラと共演し、国際的に活躍。また、NHK「名曲アルバム」等のTV番組にも定期的に出演するなど幅広い活動を展開している。

ピアノ ヴァレリー・アフアナシエフ

Piano VALERY AFANASSIEV

圧倒的なカリスマ性を持ち、聴衆を魅了する現代最高の鬼才。1947年モスクワ生まれ。モスクワ音楽院でヤーコフ・ザークとエミール・ギレリスに師事。ライブツィヒ・バハ国際コンクール、エリザベート王妃国際コンクール優勝。74年にベルギーへ亡命。以後、欧米各地でリサイタルを行うほか、ベルリン・フィルなどの著名なオーケストラと共演を重ねてきた。83年にギドン・クレーメルの共演者として初来日。その後も来日を重ね、独自の世界観をピアノで表現。その模様は、NHK教育テレビで放映され話題を呼ぶなど、日本でも幅広い熱烈なファンを獲得している。これまでにDENON(日本コロムビア)、若林工房などから30枚以上のCDをリリースし、レコード・アカデミー賞などを受賞。来日や新録音のリリースの度に、その独自の音楽が論議を呼び、音楽界に大きな刺激をもたらしている。一方、ピアニスト以外に文学者の顔を持ち、フランス、ドイツ、ロシア、日本で小説や詩集、エッセイなどが出版されている。現在は、ブリュッセルを拠点に活動。今回が読響と初共演となる。

読売日本交響楽団 第572回 サントリーホール名曲シリーズ

2014年 6月20日(金) 19時開演

サントリーホール

S ¥7,200 / A ¥6,100 / B ¥5,100 / C ~~SOLD OUT~~

東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001(オフィス)

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分、銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

読売日本交響楽団 第167回 東京芸術劇場マチネーシリーズ

2014年 6月22日(日) 14時開演

東京芸術劇場コンサートホール

S ~~SOLD OUT~~ / A ¥5,100 / B ¥4,100 / C ~~SOLD OUT~~ ジュニアシート(大人同伴の小中高校生)¥1,500

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

●JR・西池袋袋線・東武東上線・東京メトロ池袋駅西口より徒歩2分(*駅地下通路2b出口と直結しています)

託児サービス 東京芸術劇場には一時託児施設があります。芸術キッズルーム muse(ミュージス) 03-3981-7003(6/22)

学生券: 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

団体割引: 読響チケットセンターにて同一公演の1回券を10枚以上まとめてお求めになった方に団体割引をいたします。

*都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。*未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時~18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択してチケットをご購入いただけます。(一部、携帯電話、スマートフォンなどを除く)
*郵送でチケットを受け取る場合、送料は無料です。

前売所: チケットぴあ 0570-02-9999、サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017(6/20公演分)、東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296(6/22公演分)、イープラス <http://eplus.jp/>